

様式

令和4年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」 江陽 中学校区実践計画書

事務局 江陽中 学校（担当職・氏名：教頭・佐々木 克昌）

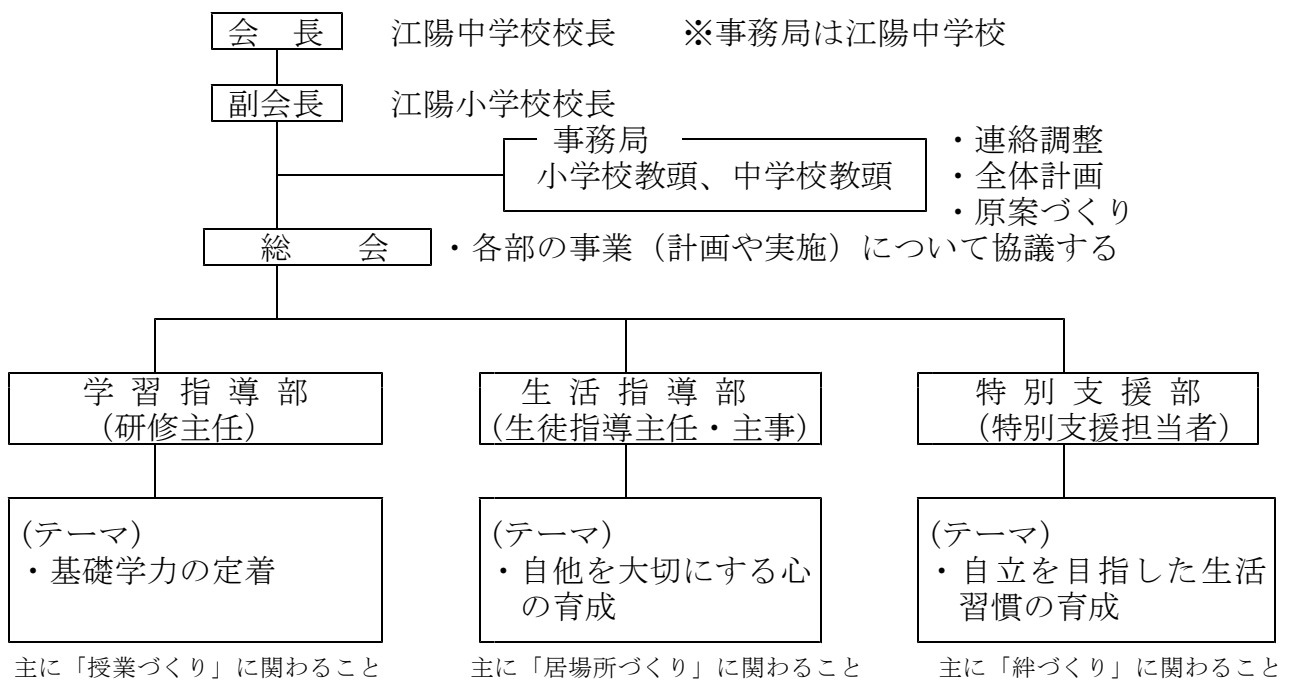
1 主題（8年次）

『家庭学習の習慣化のための小・中学校の連携のあり方』

2 主題設定の理由

本学区の小学生は、素直で明るい児童が多く、目標や目的に向かって一生懸命取り組もうとする。しかし、自ら考えて行動する力は充分であるとはいえない。また、各学級には複数の個別の支援を要する児童生徒がおり、その状況把握や児童一人一人への指導の充実を図っていかなければならない。また、中学生は、明朗快活で、明るい態度で授業を受けている子は多いが、家庭的に困難を抱え、基本的な生活習慣が身に付いていない生徒もいる。学校で学習した内容は概ね理解できるが、家庭で復習する習慣が乏しいため、学力の定着が思わしくない生徒も少なからずいる。そのため、小・中学校と家庭が連携し、9年間を通じた学習の習慣化を柱として、基礎学力の定着を図ることが必要と考え、本主題を設定した。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



4 中学校区の重点指導項目

江陽中学校区 重点指導項目

- ・授業規律について共通した取組の推進
- ・地域や家庭でのあいさつ励行
- ・「特別支援教育の視点」を取り入れた授業づくり